

■ 2026年度 入試問題分析シート ■

東北大学

前期日程

科目

国語(現代文)

試験時間	150 分	満点(配点)	文 500 点、教育・法 650 点、 経済 600 点	出題数	現代文2題、古文1題、漢文1題
------	-------	--------	---------------------------------	-----	-----------------

総括

難易度(昨年比)	難化	昨年並	易化
分量(昨年比)	増加	昨年並	減少

〈総論〉

大問一は、フェミニズムを援用しつつ、異文化との差異を通して自文化を見つめ直すことについて述べた文章からの、大問二は、戦争経験を通して変化した父のあり方をめぐる家族の様子を描いた小説からの出題だった。問題文の分量は、大問一はやや減少、大問二で大幅に増加した。設問は両大問とも5つずつで、各大問の間(二)～問(五)の総記述量は、大問一が210字でやや減少、大問二が230字で昨年並みであった。一部解答の仕方に工夫が必要な設問もあったが、全体としての難易度は昨年並みと言ってよいであろう。

〈特記事項・トピックス〉

昨年5つであった大問一の漢字の書き取りの解答数が、4つに減少した。

〈合格への学習対策〉

大問一については、評論・随筆(随想)ともに、内容的に重く深い文章を読みなれておくことが求められる。大問二については、小説・随筆ともに、幅広い時代、分野のものについて読みこなす訓練をしておくべきであろう。

問題分析(本文)

問題番号	類別(ジャンル)	出典(著者)	コメント(特徴・出題頻度など)	本文のレベル
一	評論	横田祐美子「空気に触れる眼——イリガライと触覚的知覚」	異文化との差異を通して自文化を見つめ直すことについて述べた文章。論理的思考力が問われている。	標準
二	小説	林真理子「玉呑み人形」	父に対する思いを中心に家族の様子を描いた文章。人物の心情を論理的に読み取ることが求められている。	標準

設問分析

問題番号	設問番号	設問形式	設問内容(特徴・解答上のポイントなど)	設問のレベル
一	(一)	記述	漢字の書き取り。同音異義語に注意する。	標準
	(二)	記述	傍線部に至るまでの論旨をおさえる。	標準
	(三)	記述	対比に着目して、傍線部の前部の論理展開をおさえる。	標準
	(四)	記述	引用文の内容をおさえ、ここまでの論旨との関係を考える。	やや難
	(五)	記述	「本文全体の内容を踏まえて」とあることに注意。	やや難
二	(一)	記述	「文脈に即して」意味を「簡潔」に答える。	標準
	(二)	記述	傍線部中の指示語に着目する。	標準
	(三)	記述	傍線部直前の「だから」に着目して、この部分の心情を読み取る。	やや難
	(四)	記述	戦争を通じた父のあり方の変化を考える。	標準
	(五)	記述	「本文全体の内容を踏まえて」自己中心的な父の態度に槇子が抱く思いを、苦しい暮らしをする母や父を嘲笑する家族と比較してまとめる。	やや難

「問題レベル」は、本大学・学部を志望している受験生の入試レベルを基準に、問題の難易度を5段階【難・やや難・標準・やや易・易】で判断しています。昨年対比ではありませんので、総括の難易度(昨年比)とは連動しません。

©駿台予備学校

■ 2026年度 入試問題分析シート ■

東北大学

前期日程

科目

国語(古文)

試験時間	150 分	満点(配点)	文 500 点、教育・法 650 点、 経済 600 点	出題数	現代文2題、古文1題、漢文1題
------	-------	--------	---------------------------------	-----	-----------------

総括

難易度(昨年比)	難化	昨年並	易化
分量(昨年比)	増加	昨年並	減少

〈総論〉分量は1100字程度で、昨年度並。問(一)の語句の意味を問う設問は、従来の3問から2問に減少し、内容も平易であった。記述量は昨年度とほぼ同程度だが、制限字数が例年にも増して厳しく、苦戦した受験生も多かったと思われる。説明問題では、「本文の内容に即して」「本文全体の内容を踏まえて」という条件が示され、文章全体への理解が問われた。

〈合格への学習対策〉

基本的な単語の知識や、助動詞、助詞、敬語などの基本文法の知識を身につけた上で、問題全体の内容を踏まえた口語訳の訓練と、記述力の錬成が求められる。日頃から、自力で本文の現代語訳をすること及び、早い時期から字数制限のある記述問題への対策を行うことが必要である。

問題分析(本文)

問題番号	類別(ジャンル)	出典(著者)	コメント(特徴・出題頻度など)	本文のレベル
三	歌論	排蘆小船(本居宣長)	本居宣長の著作からの出題は、2017年度の『玉勝間』以来。歌論からの出題は、2012年度の『新学異見』(香川景樹)以来である。	標準

設問分析

問題番号	設問番号	設問形式	設問内容(特徴・解答上のポイントなど)	設問のレベル
三	(一)	記述	文中での語句の意味を答える。	やや易
	(二)	記述	本文の内容に即して、「己の分量を出でず」について説明する。	やや難
	(三)	記述	本文の内容に即して現代語訳する。	標準
	(四)	記述	本文の内容に即して、「和歌の功德」「性状もよく化する」について具体的に説明する。	標準
	(五)	記述	本文全体の内容を踏まえて、「本末を弁へ知らざる者」への作者の批判について説明する。	難

「問題レベル」は、本大学・学部を志望している受験生の入試レベルを基準に、問題の難易度を5段階〔難・やや難・標準・やや易・易〕で判断しています。昨年対比ではありませんので、総括の難易度(昨年比)とは連動しません。

■ 2026年度 入試問題分析シート ■

東北大学

前期日程

科目	国語
----	----

試験時間	150 分	満点(配点)	文 500 点、教育・法 650 点、 経済 600 点	出題数	現代文2題、古文1題、漢文1題
------	-------	--------	---------------------------------	-----	-----------------

総括

難易度(昨年比)	難化	昨年並	易化
分量(昨年比)	増加	昨年並	減少

〈総論〉

- ・問題文の字数は220字で、昨年とほぼ同じ。
- ・設問の数は例年通りの全5問。語の意味（3問）、書き下し（2問）、口語訳（2問）、内容説明（1問）が出題された。説明問題は、例年2から3問出題されるが、今年は1問のみ。説明問題の制限字数は「60字」だった。
- ・傍線部はいずれも白文だった。

〈合格への学習対策〉

東北大漢文の難易度は入試漢文の中ではかなり高い。特に説明問題については、制限字数を課されるので、特別に対策をしておく必要がある。また「乃」「肯」「不得已」が鍵となったように、基本的な句形・語法・語彙が得点を左右する。失点しないようしっかりと基礎を身につけておくこと。

問題分析(本文)

問題番号	類別(ジャンル)	出典(著者)	コメント(特徴・出題頻度など)	本文のレベル
四	逸話	涑水紀聞(司馬光)	のちに宰相として栄達を遂げる張齊賢がまだ無位無官だったときの、彼の優れた人柄や器量を伝える逸話。	標準

設問分析

問題番号	設問番号	設問形式	設問内容(特徴・解答上のポイントなど)	設問のレベル
四	(一)	記述	語の意味〔3問〕／「布衣」「舍」「遺」。文脈を踏まえて解釈する。「舍」「遺」はやや難か。	標準
	(二)	記述	書き下し(すべて平仮名で)〔2問〕／「乃」「肯」「自」「不得已」などが問われた。	やや易
	(三)	記述	口語訳／文脈を踏まえて「賤子」「就」「大夫」「酔飽」などの語句、および、願望「欲」、疑問「可乎」をうまく解釈できるかがポイント。	やや難
	(四)	記述	口語訳／推量「恐……耳(恐らく……のみ／……だろう)」、受身「為A B(AのBと為る／AにBされる)」を踏まえて口語訳する。	標準
	(五)	記述	説明(60字以内)／逸話全体を踏まえる。大きな碗で三度一気飲みし、素手で肉をちぎって食らうその様子に加え、住民が盗賊を恐れて逃げ隠れる中、張齊賢がその盗賊に酒食を求める点にも着眼する。	標準

「問題レベル」は、本大学・学部を志望している受験生の入試レベルを基準に、問題の難易度を5段階〔難・やや難・標準・やや易・易〕で判断しています。昨年対比ではありませんので、総括の難易度(昨年比)とは連動しません。